

経済文教常任委員会活動報告

「まちづくり課部門」

開催日	テーマ	内容
令和元年 5月7日	空家実態調査について	<ul style="list-style-type: none"> ・空家対策・適正管理方針に基づき空家等対策計画を作成し、町に協議会を立ち上げます。 ・実態調査に基づき空家台帳を整備し、空家所有者に対し、空家解消に向けた働きかけをどのように行うかについて議論しました。 <p>内容：真鶴町空家等対策計画（案）を基に「第1章計画の概要」「第2章空家等を取りまく現状」「第3章計画の基本的な方針」「第4章空家等対策の取組」「第5章空家等対策の推進体制」までの現状と課題について説明を受けました。</p> <p>平成30年度の調査では、町内の空家は、568件あり、そのうち約1/4の148件が周辺に悪影響を及ぼすことが懸念される特定空家等の候補となっています。</p> <p>所有者が確認できた180件に対しての意向調査を行った結果、空家になった原因の理由は、相続により取得したが、別の住居で生活しているためが一番多く、空家で困っていることは何かの質問では、庭の手入れ等ができないことが一番多く、維持管理をしていない理由としては、身体的・年齢的な問題が一番多くありました。</p> <p>課題⇒今後も人口の減少が続くことが予想されるため、人口減少に対応するための移住政策の推進や相続問題や解体費用等の資金面等の専門的な相談にも対応できる相談窓口の設置が必要と思われます。</p>
6月11日	コミュニティーバス利用者アンケートについて	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は対前年度比10%弱増加しました。 <p>課題：もっと自宅に近い所まで来てほしい等の意見が多く、よりきめ細かな対応が求められます。</p>
	タクシーを用いたデマンド交通実証実験について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が少なかったため、満足な結果が得られませんでした。 <p>課題⇒利用者が少なかったから、不要とするのではなく、少ない理由を再度調べる必要を感じました。</p>

		デマンドタクシーとは⇒タクシー会社と町が協力して運営を行い事前に登録や予約をして、利用します。
7月23日	コミュニティーバスの運行について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議等における協議、関係機関等との事前調整の必要性、運行の安全性、住民や利用者への影響、その他諸手続きの必要性と重要性について確認を行いました。 対応策⇒ 朝の早い時間帯と夜の遅い時間帯がないことも見直しが必要で、さらに小型の車両との併用も必要ではと思われます。

「産業観光課部門」

開催日	内容	対応
平成31年 1月29日	真鶴魚座外観整備事業について	・以前より景観を損ねているとの指摘があった真鶴魚座二階（県道側）の水槽ガラス部について、真鶴らしさをイメージしたイラストを貼付したとの改善報告を受けました。
4月23日	岩牡蠣養殖事業について（視察）	<ul style="list-style-type: none"> ・岩港沖合の養殖設備（垂下施設）を視察、生育状況の確認と現場で働く漁師から管理状況等についての意見聴取を行いました。 課題⇒ 台風等の自然災害に対することと、市場への、相応の受入ができるかが、未知数なので、危惧されます。

「教育課部門」

開催日	内容	対応
平成31年 1月29日	中学生グローバル人材育成事業について（旧海外派遣研修）について	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に国内施設による研修を予定しています。 ◎予定どおり実施しました。（参加者14名）
	中学校昼食（パンの購買）について	・1月より導入し問題は発生していませんが、注文数が少なく（1日平均5食）でした。
2月27日	I C T授業について（視察）	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生対象の授業を視察しました。 感想：自ら画面内のキャラクターに指示を与え、上下左右に動かすプログラムに取り組み、教員や指導員の助言を受けながら、のびのびとした授業が行われていました。

		ICT 教育とは⇒ パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法で、インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジーの頭文字をとった言葉です。
3月8日	小中学校教育のICTを利用した教育の推進計画について	<p>・教育環境の変化とグローバル化への対応として、ICT教育と英語力向上に向けた取り組みを推進する基本的な考え方がまとめられたことから、新年度以降の教育方針について説明を受けました。</p> <p>内容⇒ ①ICT 教育に係る教職員研修の実施。②プログラミング教育授業の実践。③ICT 支援員の派遣を計画しています。</p>
4月23日	民俗資料館について（視察）	<p>・町が取得した岩民俗資料館を視察し、保存・管理に必要と思われる外壁や建物内部の補修計画等について説明を受けました。</p> <p>課題⇒ 修繕箇所が多く、予算の確保が心配されます。</p>
令和元年 6月11日	海の学びミュージアムサポート事業について	<p>・貝類博物館の展示事業や教育普及事業の様々なイベントを充実させる事業で、海洋教育普及事業を通して海を守ることの大切さを学ぶことにより、毎日の生活の中で、海を意識し行動できる人を数多く育成し次世代に豊かな海を引き継いでいくことを目的とした事業内容です。</p> <p>○経済・文教常任委員会で、視察を行いました。</p>
	海の学びミュージアムサポート事業（博学連携）について	<p>・学校教育と連携し、町内外の小中学生を対象に、真鶴町の自然を活用して、生命の大切さや真鶴の海の特徴を理解してもらう「海の学校」をより充実させるもので、高校生も対象に加え実施しています。</p>
	給食の放射性物質検査について	<p>・平成24年1月より原発事故の影響を考慮して給食食材の放射性物質の測定を実施してきましたが、本年度より休止となりました。</p> <p>・今後は大気中の放射線測定値を確認し、震災や事故等によって測定が必要となった場合には再開することとしており、保護者への周知を行いました。</p>

8月6日	中川一政美術館について（視察）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設職員から現状についての説明を受け、老朽化に伴う壁面や空調設備、樹木の生長に伴う歩経路の膨らみ等を確認しました。 ・確認した改善点や補修提案等は、次回委員会で執行部と議論を予定しています。
9月6日	学校教育のあり方検討会について	<ul style="list-style-type: none"> ・急速な少子化の流れの中、学校の小規模化という今まで体験したことのない時代に入ろうとしており、今の子ども達だけでなく、これからの子ども達にとっても、より良い教育となることを目指し、今後の学校教育のあり方を検討する委員会を立ち上げました。 <p>○令和元年9月6日（金）に委員会の議題として、担当者から内容の説明を受けました。</p>
	中川一政美術館施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・壁面の老朽化や、歩経路の膨らみ等について写真を提供し改善方法を提案しました。 <p>回答⇒ 修繕計画に基づいて実施するとのことです。</p>
	ICT教育の進め方、今後の日程等について、	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育先進自治体におけるICT教育現場への視察については、教育委員会、小中学校教職員と合同での実施を計画することとしました。 <p>※ 本年11月下旬に視察（東京都小金井市立前原小学校他）を予定しています。</p>
	町立体育館維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕や改善を重ねていますが、未だに充分ではありません。 <p>改善方法⇒ 施設管理者が、より細かな利用者の立場に立った実地調査をすべきではないかと思われます。</p>